



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レヌーフ

第 22 回 例会 1978 年 12 月 1 日 (金) 晴 第28号

出席報告

出席数	出席数	出席率	前回の修正
25 名	22 名	100 %	100 %
出席者			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 永見座間 R.C. 会長

大和・座間・大和中 3 クラブ 合同 例会 於 小 杉 会 館

ゲスト

富田清次郎第6分区代理, 会員御家族(敬称略)
藤田アサ, 郡司禎子, 袴田多恵子, 伊藤克枝, 亀谷はま子, 北砂安子, 中西多恵子, 佐藤実子, 須藤慶子, 寺田久子, 富沢千鶴子, 辻小百合, 矢野愛子。

す。私どものクラブは、今年5月に大和ロータリークラブを親クラブとして創立いたしました。

従いまして座間クラブとは兄弟クラブの関係にございます。今年から合同例会に仲間入りさせていたゞきました。よろしく願いいたします。

また、来年4月22日(日)には、私ども大和中ロータリークラブのチャーターナイトを、米国海軍厚木航空施設におきまして執り行ないますので皆様のご来席を、この席をお借りいたしまして、ご案内させていただきます。

会長報告

蜂屋副会長代行



ご紹介いたゞきました大和中ロータリークラブ会長代理の副会長を務めます蜂屋でございます

幹事報告

1) 新会員候補者のご紹介いたします。新会員候補者につきましては、お配りいたしました資料の通りでございますので、よろしくお願いいたします。

本日のプログラム (12月7日)

「職業奉仕について」 石川 吉 P.G.

次週予定

クラブフォーラム「職業奉仕について」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和市中心1-5-40
及び 大和市中心会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会長 : 矢野久元 副会長 : 蜂屋良平
会幹事 : 長谷川清一 会報委員 : 土屋・郡司

また、12月7日（木）午後6時30分から大和市医療センターにおきまして、公式訪問に際しましてのリハーサルを行ないます。

なお、当日は富田分区代理も臨席されますので、全員のご出席をお願いいたします。

3) 12月7日（木）の例会は、クラブ細則第4条第1節の規定にもとづき、年次総会を開催いたしますので、全員のご出席をお願いいたします。なお、当日は、石川パストガバナーの職業奉仕についての卓話が予定されております。

4) 12月14日（木）の例会には、職業奉仕のクラブフォーラムを行ないますので、事例をお持ちの方、或は、質問のある方は、あらかじめご用意下さい。

3クラブ合同例会から

例会は定刻より10分遅れて、午後6時10分、座間R.C.永見会長の点鐘で開会。最初に永見会長より我々中クラブが初参加との事で全員起立、ご紹介頂いたあと、大和、大和中、座間の順でゲストの紹介、会長、幹事報告が型通り行なわれ、例会は約30分で終了、懇親会に入った。



乾杯の音頭に立った富田分区代理は

「本日はお招き頂き有難うございます。日頃堅苦しい事ばかりお話しておりますが、本日は抜きにして、皆さんと楽しく過したいと存じます。ただ一言、先日の研究グループ交換に際しましては大和R.C.の小武君に最初から最後まで通訳をかっていただき厚く御礼申し上げますと共に、大和R.C.他各クラブの多大な御協力に感謝致します。

皆様の益々の御発展と御健勝を祝して乾杯致したいと存じます」と挨拶、乾杯の音頭をとられた。

懇親会は座間R.C.片野親睦委員長のプロ顔負けの司会で進められ、漫談家、切り紙師等寄席演芸が続いたあと、3クラブ親睦委員全員による合唱で最高潮に達した。



私達中クラブの会員連は初めての経験とあっていさゝか緊張気味だったが、アルコールのメーターが上るに従って気分もほぐれ、そここゝで御夫人を紹介し合ったり、各席を廻って旧交を暖める風景も見られ、160人を越える大宴会の中にすっ



かりとけこんだ。宴半ば、大和R.C.とわが中クラブの名親睦委員長猪熊会員の御努力により、大和章謡会の子供さん達の民謡や三味線が興を添え、最後に小菅会員がプロ級の歌を披露し、全員で、「手に手つないで」を合唱、楽しい合同例会は閉幕。

今回お世話いただきました座間R.C.の皆様、並びに各R.C.の親睦委員の方々に厚く御礼申し上げます。



Charter Member's Profile



郡 司 会 員

今週は会員増強委員長であり、クラブ会報の副委員長としてお世話いただいている郡司会員のご紹介です。座間、大和、大和中3クラブ合同例会の翌日、会社へおたずねしました。

— 先ず昨夜の合同例会のご感想からお聞かせ下さい……。

「私は家族会にも出席出来ず、今回初めて家内を連れて行きました。3クラブ合同例会はもちろん初めてですが、年一回くらいはいゝんじゃないでしょうか。来年は当クラブがホストだそうで、今から大変だと思いました。」

— ところでR.C.に入会されたきっかけは……？

「仕事が車体工業の関係で、矢野会長に勧められまして……。」

— R.C.についてはご存知でしたか……？

「仕事の関係で大和R.C.に知人が何人かおり以前にも入会を勧められた事が何度かあります。イメージとしては、偉い人が集って奉仕をしている団体である……そんなふうに考えていました。」

— 入会されてみていかがですか……？

「きいていた話のR.C.とは大分違っていました。親睦団体と言う事は知りませんでしたし、もっと堅苦しいところだと思っていました。しかしやる事は思っていたより大変のようですね。」

— これまでのご感想を……？

「私は大和に約15年もいても、地域の人々との知り合いが余り出来ません。R.C.に入会した事によって、多くの業種の方々とお付き合い出来

るようになった事は大変に嬉しい事です。」

郡司 守、昭和8年7月生、群馬県伊勢崎市出身、45才。3才の時東京に出るが、戦争で再び伊勢崎へ疎開。昭和27年伊勢崎高校卒業、純正舎（現在の白十字）へ入社。36年10月結婚して横浜へ移ると同時に現在の成興工業へ入社。38年石川町から大和へ工場が移転、大和勤務となり、今年11月社長に就任、現在に至る。趣味はゴルフ、釣など。

— チャーターナイトの準備が進められていますが心がまえなどお聞かせ下さい……。

「これまでの地区協議会、地区大会、横浜田園R.C.のチャーターナイト等に参加してみて、何故あれまでしなければいけないのか、言い方は悪いんですが、金持ちの遊びみたいな観がなきにしもあらずで……。式典がオーバーすぎるような気がします。私共の場合は余り派手にする必要はないんじゃないですか……。もっと短時間で終るものであっても良いのではないかと考えもします。」

— 奉仕について……？

「私達は何等かの形で地域社会にお世話になっています。私もそろそろ地域社会の為に何かしなくてはと考えていたところでしたのでR.C.に入会した事によって、皆さんのお仲間に入れていただきこれから出来る範囲で地域の為に恩返しをしたいと思っています。」

— 最後に会員増強委員長としてひと言……？

「適当な会員数がどのくらい分かりませんがむやみに多くする事は良くないと思いますのでじっくり腰をすえてやってゆきたい……。」

ゴルフのH/C9のいう腕前の郡司さん、明るい性格で運動神経のすこぶる発達した方である。

会社が隣りなので公私共にお世話になります。事あるごとに相談にのってくれる郡司さん。これからもよろしく……。 (土屋会報委員)

ロータリー情報

クラブ協議会での討議参加の重要性

- 1) 上手に指導されたクラブ協議会は、その年度を通して、クラブ活動を活気づけ、会員の参加を確保する要素です。協議会は、各委員が各自の意見を発表する機会となり、そして、自由に、各自の意見やアイデアを発表し、交換することは、各種の問題に対する新しい解決策を生み出すものとなります。
- 2) これまでの公式訪問におけるクラブ協議会は、どうでしたでしょうか？ 討議は活発で志気を鼓舞するものとなったのでしょうか？ 各委員長が委員会報告を朗読するのを静聴するに終るような協議会は推奨できません。活発な討議こそ、クラブ協議会の主要な目的であることを強調し、地区ガバナーとして、クラブ提出の報告は既に精読したこと、そして、それらについて討議する準備をして来たことを、クラブ協議会開会と同時に発表して下さい。実のある討議をするには、各委員の活発な参加が最も大切な要素です。

ロータリーの定款規定の研究に関するザ、ロータリアン誌記事。

- 1) 国際ロータリー理事会は、1978～79年度第一回会合において、1980年の規定審議会並びに国際大会に備え、ロータリーの定款規定の全面的な研究を要請しました。ザ、ロータリアン誌の9月号に、この研究の目的及び実施要領についての特別記事が記載されました。この記事には各ロータリークラブにおいて定款規定の改正を検討するに当たって会員間で研究できる2、3の質問が記載されています。“Rotary’s constitutional documents Is 1980 the time for change?”と問う、この重要な記事を読み、検討することを要請願います。

麻薬問題を特集のザ、ロータリアン誌10月号

- 1) 何十年にもわたり、世界中の社会では、麻薬問題のジレンマにおちいり、悩んでおります。世界中にひろがり、ますます深刻化しつつあるこの問題に対処し、その統制、解消をはかるには国際的な協力を必要としています。ザ、ロー

タリアン誌10月号の特集記事“Drug abuse-- international affliction”を読み対策をはかって下さい。

- 2) イタリア料理と言えば、多くの人達は、スパゲティとかマカロニ類のペーストのことだと勘違いしています。そうではないのです。イタリア料理は、どの国の料理にも負けないほど、その味や種類にも富んでいます。ザ、ロータリアン誌が特集した、調理法説明付きの記事、“More than spaghetti”から、イタリア料理の特色を学んでみて下さい。

航海者たるロータリアン

ロータリーでは、何千人という会員が彼らの理想を他の人達とも分かち合うことによって、その目指すところの水平線を拡大しております。1人でも多くの人達と理想を分かち合うことによって、クラブは一層、有意義な活動をする事ができ、ロータリアンの「業績の大海」が広がるのであります。18世紀の英国の歴史研究者、エドワード・ギボンは「風と波は常に有能な航海者の味方である」と言っています。

各種事業界、専門職業界のリーダーたるロータリアンがクラブ活動に献身するに従い、各ロータリアンは、奉仕への挑戦に応ずる航路を、それぞれの舵をとりながら航海を続けるのであります。その奉仕が、R. I. の保健、飢餓救済、人道的奉仕プログラムであろうと、クラブ史の編集であろうと、他の、いかなるロータリー奉仕であろうと、ロータリー活動はすべて、正しい航路を真直ぐに進むものであります。「奉仕の冒険」(第52条)には、「奉仕の理想を果敢な活動で答える努力的なロータリアンは、恰も海を愛する航海者のように、彼らの満足感を航海そのものに見出すものであります。」ロータリアンの、クラブでの生活は、その入会時より、「奉仕の冒険」の航路をたどることになるのであります。

全世界のロータリー

1978年8月31日現在、ロータリーは、154の国及び地理的地域に、17,843のクラブと約830,250人の会員を有します。地区数は375です。1978年7月1日以降、国際ロータリーに加盟した新クラブ数は、160国より、33クラブです。